

平成 25 年度実績に関する施策・基本事業評価表(兼 主要な施策の成果報告書)

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	20	施策名	総合交通体系の整備
主管課名	商工観光課		
関係課名	建設課・都市計画課・環境安全課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利用しやすい公共交通が整っています。 市民バスは、安全・安心な運行で、多くの人に利用されています。 駅が整備され、乗り換えが便利になっています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に鉄道やバスなど公共交通機関を利用します。 公共交通が利用しやすくなるための意見や提案を積極的に行います。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性の向上について、関係機関等に働きかけ等を行います。 魚津市民バスについて、路線の整備、利用のPRを図ります。 公共交通に関する各種団体及び機関からなる公共交通活性化会議を行います。
	その他	

施策の トータル コスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	5 (4)	5 (5)			
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (1)	1 (1)				
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (2)	2 (2)				
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	1 (1)	2 (2)				
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—						
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	347,708	169,802				
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	39,684	33,889				
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	123,852	88,781				
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	184,172	47,132				
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—						
C. 施策に携わるのべ正規職員数合計	人	—	11	13				
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	4,200	4,400				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	18,476	18,454				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	366,184	188,256				
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の							
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	7,846	3,856			
	同 上	円	—	417	419			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	417	419			
同 上	円	—	8,263	4,275				
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	8,263	4,275				

参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194		
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036		

基本事業概要シート①

施策No.	20	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名①		公共交通ネットワークの構築	
基本事業①の目的(意図)		市民および来訪者等全ての人が利用しやすい効果的・効率的かつ持続可能な公共交通体系(市民バス・地鉄バス・並行在来線・地鉄本線等の在り方)が築かれています。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		【公共交通対策事業】 ・地域におけるバス・鉄道などの公共交通の連携・活性化を図るとともに、北陸新幹線長野ー金沢間開業後等将来における効率的、効果的かつ持続可能な公共交通体系を検討しました。 ・富山地方鉄道の安全輸送、利用促進のため、県・沿線自治体で支援しました。 ・富山県並行在来線会社(あいの風とやま鉄道)に県・県内自治体・民間とともに出資(増資)するとともに、富山県経営安定基金へも拠出しました。 ・並行在来線等対策連絡協議会において市民号や講演会を開催し、鉄道・バス等の利用にかかる市民の方の意識の醸成に努めました。 ・富山地方鉄道の市内路線バスの市民バス並料金化と夕方の増便を行いました。 ・新たな長距離輸送手段として、鉄道以外では高速バス網の将来像を検討し、運行会社との打合せを行いました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市民バスと地域活性化バス(片貝コミュニティバス)及び地鉄バス利用者数(地鉄数含まれず)	人	200,149+地鉄	201,000	201,800	202,600	203,400	204,200	205,000 +地鉄	210,000 +地鉄
			207,287	212,110	221,171	222,715			
鉄道駅利用者数	人	3,025,850	2,990,000	2,960,000	2,930,000	2,900,000	2,870,000	2,850,000	3,050,000
			2,986,540	3,031,870	3,019,590	3,048,910			
高速バス魚津停留所利用者数	人	0	5,000	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000	11,000
			4,003	5,792	6,150	6,068			

基本事業①を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	公共交通対策事業	37,766,000	33,888,880	3,877,120	A	商工観光課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			37,766,000	33,888,880	3,877,120		

基本事業概要シート②

施策No.	20	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名②		市民バス体系の強化	
基本事業②の目的(意図)		民間路線バスとの協調、公共交通空白地域への対応、安全運行管理体制の強化や低床バス導入などの利用環境の整備を進め、安全・安心なバス運行事業を行い、高齢者を中心とした交通弱者の移動手段を確保することで、市内の回遊性が向上するとともに、地域間交流が促進し、地域の活性化、市街地の賑わいを創出します。併せて、道路交通の円滑化・交通安全、地球温暖化防止等環境保全、健康増進などを図ります。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		【魚津市民バス事業】 ・バスロケーションシステム(上野方・経田-道下ルート)及びバス運行ディスプレイシステムを導入しました。 ・松倉・中島・天神・経田-道下ルートでのバス車両更新+音声案内機器を導入しました。 ・市民バスを利用した市内まちなか巡りを実施しました。 ・市街地巡回ルートの夕方1便の増便実験運行(通勤・通学者対策)を実施しました。 ・郊外ルート(一部)の富山労災病院への乗り入れを行いました。 ・市民バス運行管理体制の将来方針を策定しました。 【地域活性化バス等運行事業】 ・片貝コミュニティバスを地元片貝地域振興会に運行委託し、地域住民の移動の足の確保を行いました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市民バスと地域活性化バス(片貝コミュニティバス)及び地鉄バス利用者数	人	200,149	201,000 207,287	201,800 212,100	202,600 221,171	203,400 222,715	204,200	205,000	210,000

基本事業②を構成する事務事業の実績

No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	魚津市民バス運行事業	121,207,400	84,228,554	36,978,846	A	商工観光課
2	一般会計	地域活性化バス等運行事業	5,493,000	4,552,417	940,583	C	商工観光課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			126,700,400	88,780,971	37,919,429		

基本事業概要シート③

施策No.	20	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名③		在来線の利便性向上	
基本事業③の目的(意図)		地域における安全・安心な鉄道環境の整備支援と鉄道利用の促進及び北陸新幹線開通後の在来線のあり方を検討し、鉄道駅を中心としたまちづくりや地域活性化を促進します。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【電鉄魚津駅及び駅前広場整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 従来の電鉄魚津駅移設(バリアフリー化)し、広場スペースを確保するとともに、バス乗降、キスアンドライドがスムーズにできる駅前広場を整備しました。 <p>【魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚津駅・新魚津駅の駅舎と周辺整備のための基本構想(調査・設計・概算費用の積算等)の策定を行いますとともに、JR貨物用地取得に向けたJR貨物、JR西日本、富山地方鉄道、あいの風とやま鉄道、富山県等関係機関との協議を行いました。 【公共交通対策事業】 並行在来線等対策連絡協議会において、市民号の実施など鉄道の利用促進に努めました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
市内富山地方鉄道駅利用者数	人	1,176,760	1,164,000	1,151,000	1,138,000	1,126,000	1,113,000	1,100,000	1,200,000
			1,163,000	1,193,000	1,207,000	1,175,000			
JR魚津駅利用者数	人	1,849,090	1,832,000	1,817,000	1,800,000	1,784,000	1,767,000	1,750,000	1,850,000
			1,823,540	1,838,870	1,812,590	1,873,910			

基本事業③を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	電鉄魚津駅及び駅前広場整備事業	41,598,600	41,577,600	21,000	B	商工観光課
2	一般会計	魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業	5,685,000	5,554,800	130,200	A	商工観光課
3	一般会計	公共交通対策事業(施策20-①再掲)	(37,766,000)	(33,888,880)	(3,877,120)	A	商工観光課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			47,283,600	47,132,400	151,200		

施策No.	20	施策名	総合交通体系の整備
-------	----	-----	-----------

25年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p>【公共交通ネットワークの構築】</p> <p>◆魚津市民バスについては、市街地巡回ルート及び郊外型6ルートが運行され、全体として利用者は年々増加傾向にあります。また、近隣の市町とは置かれている状況が異なるため、一概に比較はできませんが、人口に対する路線数や運行頻度は他市町よりも利便性が比較的高く、また、料金体系も県内では安価です。</p> <p>【市民バス体系の強化】</p> <p>◆バス車両の老朽化が激しく、低床バス車両、座席数の多いバス車両への更新を望む声が多く寄せられたため、平成24、25年度に低床バス車両を含む9台の車両を更新しました。</p> <p>◆魚津市民バスについては、平成24年度に魚津IC付近の交通空白地域における実験運行が開始されるなど、地鉄バス料金の100円化も考慮すると、ほぼ全市的に均一低価格料金での運行がなされ、利用者アンケートでも概ね評価を得ております。一方で、持続可能で効率的・効果的な安全運行管理体制の強化等のため、市民バスを運営する新体制の構築に向けた様々な取組みが必要となっています。</p> <p>【在来線の利便性向上】</p> <p>◆JR魚津駅及び地鉄4駅の利用者数は他市町と同様、人口減少・少子化の中、横ばい又は微減傾向にあります。</p> <p>◆現JR魚津駅には、ほとんどの特急列車が停車していますが、北陸新幹線開業後は普通列車のみの運行となり、新幹線駅のない魚津市にとって、市民はもとより来訪者の利便性の低下が大きく懸念されます。</p> <p>◆このような状況の中、電鉄魚津駅舎及び駅前広場の整備と平成25年12月からは地鉄西魚津駅～宇奈月温泉駅間の2往復増発実験も行うなど、利用者の利便性の向上が図られています。</p>
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (25年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)

25年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)
	<p>【公共交通ネットワークの構築】</p> <p>◆魚津市公共交通活性化会議等を運営し、市民、関係者、関連事業者等との協議の中から、魚津市が目指す鉄道・バス等公共交通のあり方を引き続き検討し、併せて、開始から約3年が経過する地鉄バスの社会実験の利用上教等を踏まえ、実験終了後のあり方について地鉄と協議を行います。</p> <p>◆引き続き安全・安心して利用できる鉄道環境の整備及び魅力アップのための各種対策等への支援を行うことにより、利用者数の維持・増加を図ります。</p> <p>【市民バス体系の強化】</p> <p>◆片貝コミュニティバスの市民バス化及び地鉄バス東蔵線の在り方の検討を開始します。</p> <p>◆人口減少を見据え、持続可能な運行のための料金値上げによる影響の検証、そして、費用対効果も見極めながら、できる限り利用者のニーズを踏まえた運行を行います。</p> <p>【在来線の利便性向上】</p> <p>◆新たに市内における重要な交通結節点として位置づけし、電鉄魚津駅における電車・バス・レンタサイクル等公共交通の利用促進を図ります。</p> <p>◆基本構想が年度末まで策定完了し、平成26年度においてJR貨物用地取得に向けたJR貨物等との協議を積極的に進めます。</p>

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	◆北陸新幹線長野～金沢間の開業後、在来線・地鉄線の体系の大幅な変化と人口減少・高齢化率の大幅な増加が想定されることから、市内鉄道駅及び駅前広場、特に魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等の整備により、電車・バス等公共交通の利用環境の改善及び市民バス等の効率的・効果的で持続可能な運行体系の確立を目指すこと。	
経営戦略会議における 施策の課題及 び方針	施策の重要度	
	◆北陸新幹線開業後に在来線・地鉄線の交通利用体系の大幅な変化が想定されることから、鉄道駅や駅前広場の整備による電車・バス等の公共交通の利用環境の改善を進めるとともに、市民バス等の効率的・効果的で持続可能な運行体系の構築を図ります。	